

式典を迎えるにあたり、中央中の歴史について調べました。校舎ができて、プールができて、どんどんと今の中学校のようになっていくのが分かりました。少しずつ変わりながらも、新しいものができていくことに感動しました。

私たちが大事にしているのは「学習・合唱・清掃」の三本柱です。40年の歴史の積み上げが現在の三本柱となり、1つの伝統として私たちの生活に定着しています。私たちは、これからも継承すべきものとして、重みがあると思っています。

そして、この1年、昨年に比べ挨拶が活発になってきています。月曜日の拡大執行部の挨拶活動を習慣化していることと、部活動ごとの挨拶活動を行っていることがそれにつながっていると思います。挨拶は三本柱のうちの一つではないですが、何よりも挨拶が価値あることとして皆が心がけ、行動に移しているから、よりよくなってきていると思うのです。

後期はそれを継続し新たな伝統にしていきます。また、福祉に力を入れ、温かいつながりや心をつくっていきます。しかし、これらは今だけ頑張るのではなく、次の2年生、1年生にも引き継いでいってほしいです。

この40年周年という節目を通して、中央中生全員で、これまでの歴史をつないで、これからの未来を創っていきましょう。

生徒会長 伊藤 誠竜